

「エジプトと日本の省エネルギー協力」 (11月15日 グリーンゾーン/ホールA)

JICA エジプト事務所の主催により、エネルギー効率化に関する日本とエジプト間の政策対話と知見の共有を行うためのサイドイベントが開催された。

JICA エジプト事務所のマヤダ・マグディ エジプト事務所次長が、JICA が途上国のエネルギー効率化や気候変動対策支援のために幅広い課題に取り組んでおり、エジプトにも協力を行っていることを紹介した。

冒頭、加藤健 JICA エジプト事務所長が、エネルギー効率化は重要であり、世界のCO2排出量削減及びエネルギー原単位の改善に大きく貢献するポテンシャルがあると述べた。

エジプト電力・再生可能エネルギー省のアフメド・モハメド・モヒーナ事務次官（計画・パフォーマンスフォローアップ・国際協力担当）は事前録画により参加し、エジプトは、国内及び国際的な課題はあるものの、エネルギー改革とエネルギー効率の改善に継続的に取り組んでおり、JICA との協力が成功していることを強調した。

続いて、JICA 省エネルギー技術協力専門家チームの岩田まり氏は、エジプト政府の協力、能力開発及び知見の共有がエネルギー効率化の促進に重要な役割を果たすと述べた。

エジプト石油鉱物資源省のエネルギー・環境コンサルタントのアフメド・アブドラボ氏は、同省のエネルギー効率向上への取組について述べ、JICA による Center of Excellence for Energy Efficiency and Product Optimization, Egypt (COE) への支援を称賛した。

最後に、エジプト日本科学技術大学のアムル・エル・タウィル 教授は、インバーター搭載エアコンの性能検証試験とスマートホーム試験のプロジェクトを紹介し、高効率製品および知識普及のためのアカデミアの役割を述べた。その後、JICA ブースにてスマートホームテストのライブデモンストレーションを行った。



開会の挨拶をする加藤所長



登壇者の集合写真



参加者とのディスカッション



ビデオ録画によるMohina次官の発表